

登戸研究所シンポジウム

旧陸軍登戸研究所の上伊那への疎開の
歴史と教訓を次の世代にどう伝えるか

日時：8月10日(土)午後1時30分(開場：1時)

場所：赤穂公民館(市民活動交流センター)

(シンポジウム終了後に企画展説明会を予定)

(資料代：500円 事前申し込みなしで参加できます)

登戸研究所の常設展の秋の開設にむけて準備が進められています。戦争末期に上伊那地方に疎開した旧陸軍登戸研究所の調査活動はあらたな段階に入ります。あらためて登戸研究所の疎開の歴史と教訓、遺跡を次の世代にどう伝えていくかが問われています。今回のシンポジウムでは様々な立場からその課題を考えます。

(第1部)

基調報告 テーマ：旧陸軍登戸研究所の上伊那への疎開の
歴史と教訓を次の世代にどう伝えるか

小木曾伸一(前駒ヶ根市教育長、登戸研究所調査研究会共同代表
駒ヶ根市立博物館専門研究員)

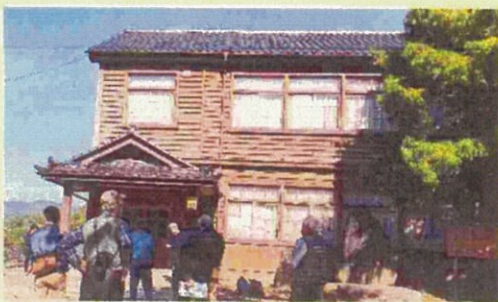
(第2部) シンポジウム

宮下与兵衛(東京都立大学大学院客員教授 元高校教諭・平和ゼミナール指導)

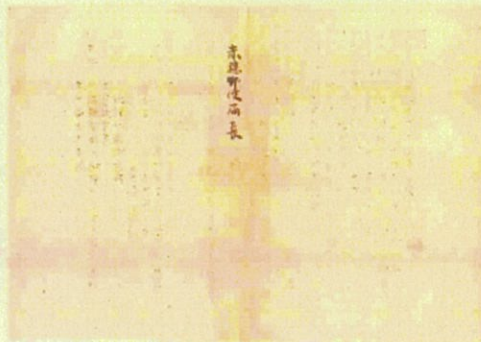
下島大輔(元中沢公民館館長・中沢区誌編集委員長)

山田朗子(川崎市市民劇団わが町団員 劇『あしものいずみ～陸軍登戸研
究所をめぐる物語～』での平和ゼミナール池田さん役)

コーディネーター(松久芳樹：調査研究会事務局長・元大学非常勤講師)



中沢民俗資料館(常設展示予定)
旧中沢国民学校校舎(第2科・第4科疎開先)



登戸研究所が1945年6月に出した
施設案内と懇談会食の案内状



小学生向け学習資料

主催：登戸研究所調査研究会・駒ヶ根市立博物館

後援：駒ヶ根市・駒ヶ根市教育委員会

その他要請中

(連絡先) 駒ヶ根市立博物館 電話 0265-83-1135 (FAX) 0265-83-1136 駒ヶ根市上穂栄町 23-1
調査研究会 090-8365-5034 (mail) noboritoyousa@cek.ne.jp (FAX) 0265-95-3356